

# [特集 1] 公務員試験の基礎知識

---

公務員とは まずは試験を知ろう！ .....	1
公務員試験の日程と試験内容 .....	5
国家公務員試験の概要 .....	7
地方公務員試験の概要 .....	25
国立大学法人等職員試験の概要 .....	35

© 2025 TOKYO ACADEMY

本書の複写・スキャン・デジタルデータ化等の複製  
及び複製物の転売は法律で認められた場合を除き違  
法のため禁じます。

# ● 公務員とは まずは試験を知ろう！

公務員は「全体の奉仕者」（日本国憲法15条2項）という言葉で表されるように、国民の生活に不可欠な行政サービスを提供し、国民の幸福・福祉の向上を支える重要な仕事です。業務内容は多岐にわたりますが、その仕事の幅広さ・民間企業では取り組むことができないようなスケールが感じられるものが多いこと、身分が安定していることなどから、人気の職業です。

### 公務員の種類

公務員の種類は、大きく国家公務員と地方公務員に分けられます。

国家公務員は、国の機関で働く職員のことです。採用試験は人事院が実施するものと、各機関が独自に行うものに大別できます。

地方公務員は、都道府県や市区町村の地方自治体で働く職員のことです。採用試験は各自治体ごとに実施されています。

なお、国立大学法人や国立病院機構などの独立行政法人職員については、国家公務員・地方公務員とは異なり公務員には当たりませんが、「みなし公務員」と呼ばれ一定の公務員としての制約を受けることになります。

#### 国家公務員

##### ● 総合職（院卒者・大卒程度）

政策の企画及び立案又は調査及び研究に関する事務をその職務とする係員であり、高度な知識、技術又は経験などを必要とする業務に従事する官職で、いわゆるキャリア官僚と呼ばれる将来の中央省庁等の幹部候補生として採用されます。試験は「院卒者試験」と「大卒程度試験」が設けられています。公務員試験の中では最難関の試験です。

##### ● 一般職（大卒程度・高卒者・社会人試験（係員級））

政策の実行やフォローアップなどに関する事務をその職務とする係員であり、将来の中堅幹部候補生として採用されます。試験は「大卒程度試験」「高卒者試験」の他に社会人を対象とした「社会人試験（係員級）」があります。

##### ● 専門職（大卒程度・高卒程度・社会人試験（係員級））

特定の行政分野に係る専門的な知識を必要とする業務に従事します。試験の種類として、法務省専門職員、外務省専門職員、国税専門官、財務専門官、労働基準監督官などがあります。

##### ● その他（特別職）

裁判所職員（総合職・一般職）、衆議院事務局職員、参議院事務局職員、防衛省専門職員などの職種があり、人事院が実施している国家公務員採用試験とは別に、独立して実施されま

す。

## 地方公務員

### ●行政・事務職

本庁や出先機関において、庶務、経理、政策の企画・立案などを担当します。地域に密着した職場ということで、人気が高いですが、近年の倍率は一部の地域を除き低下傾向となっています。

### ●技術職・専門職

技術職は専門知識を活かした職務に従事する職種で、電気・機械・土木・建築などの募集があります。専門職は資格取得（見込み）が条件となる職種で、保健師・保育士・栄養士などの募集があります。

### ●警察官

社会の治安を守るために、個人の生命や身体、財産を保護し、犯罪の予防や鎮圧、捜査、被疑者の逮捕、交通の取り締まりなどを行います。採用は各都道府県単位で行われ、他の職種とは別に採用試験が実施されます。

### ●消防官

火災から人命、財産を守るとともに火災、水難、地震などの災害による被害を極力軽減し、予防にも力を注ぐ仕事です。採用は市町村単位で行われますが、一部例外もあります（例：東京消防庁は都単位、複数の市町村が連携した広域行政組合）。

## 独立行政法人

### ●国立大学法人等職員

法人職員として、事務区分採用者は大学等の事務局又は学部等の事務部での総務・人事・財務・学生支援・国際交流・研究支援等の業務を行い、図書業務区分採用者は、図書館・図書室での図書業務を行います。また、技術系採用者は施設管理、教育研究の技術的サポート業務などに従事します。

### ●国立病院機構事務職員

法人職員として事務職員採用者は、病院運営・経営分析、物品の管理などに関する業務や患者の受付、診療費の算定等医療に関する業務、また、職員の人事・給与・福利厚生、施設の維持管理等に関する業務などに従事します。

## 公務員試験の区分

国家公務員・地方公務員には、多種多様な仕事があり、それに応じて様々な区分で採用が行われています。試験区分は、職種や仕事内容の区分を表すだけでなく、採用試験における専門試験の出題分野や、勤務地による区分を表す場合もあるので、受験案内(募集要項)をよく読んで確認しておく必要があります。

### <行政系・事務系>

各省庁やその出先機関、県庁・市役所などで働き、行政全般の幅広い業務に携わります。幅広い経験を積めることから、ゼネラリストとして活躍することが可能です。行政系・事務系は、採用試験の専門科目の出題分野の違いによって、さらに「法律」区分や「経済」区分を設けている試験もあります。

### <心理系>

法務省専門職員、裁判所職員、地方公務員の心理系公務員などとして、心理学の知識や技能を活用する仕事に携わります。一般的には、採用試験の専門科目に心理学があります。基本的には、無資格で受験できることが多いですが、「臨床心理士」の資格が必要とされる場合もあります。

### <福祉系>

文部科学省や厚生労働省の福祉職、法務省専門職員、地方公務員の福祉系公務員などとして、福祉業務に携わります。多くの場合「社会福祉士」や「精神保健福祉士」といった資格が必要になりますが、無資格でも受験可能な場合もあります。

### <専門職系>

専門的な知識や技能が必要な職種です。たとえば、外務省に勤務する「外務省専門職員」や国税庁に勤務する「国税専門官」、財務省に勤務する「財務専門官」などがこれにあたります。

### <技術系>

土木、建築、電気、機械、化学、農業・農学などの専門知識を活用し、暮らしやすい社会を実現する仕事に携わります。試験は様々な区分に分けて実施されます。志望する区分や自治体によっては、募集がない場合もあるので注意が必要です。

### <公安系>

警察官、消防官といった、住民の命や財産を守る仕事に携わります。そのほか、皇居などの警備を行う皇宮護衛官も公安系です。受験資格として身長・体重といった身体基準をクリアすることが必要で、また採用試験においては体力検査が課されます。

### <資格免許職>

看護師、保健師、獣医師、栄養士といった資格をもち、各専門分野のスペシャリストとして働く職員です。受験資格として、各分野の国家資格や免許が必要になります。

# ● 公務員試験の日程と試験内容

## 試験日程

<国家公務員一般職の場合> ※試験日程は年度により変更となる場合があります。

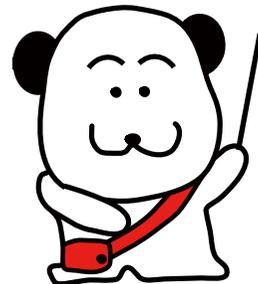
大卒程度	日程
受付期間	2月下旬～3月下旬
1次試験	6月上旬の日曜日
2次試験	7月中旬～下旬
最終合格発表	8月中旬

高卒程度	日程
受付期間	6月中旬～下旬
1次試験	9月上旬の日曜日
2次試験	10月上旬～中旬
最終合格発表	11月中旬

<地方公務員試験の場合> ※試験日程は年度により変更となる場合があります。

大卒程度	日程
受付期間	4～5月頃
1次試験	6月中旬の日曜日
2次試験	7～8月頃
最終合格発表	8～9月頃

高卒程度	日程
受付期間	7～8月頃
1次試験	9月下旬の日曜日
2次試験	10月頃
最終合格発表	10～12月頃



## 試験内容

### 教養(基礎能力)試験

大きく一般知識分野と一般知能分野に分けられます。一般知識は社会科学, 人文科学, 自然科学に関する科目, 一般知能は文章理解(現代文・英文), 判断推理, 空間把握, 数的推理, 資料解釈の問題が出題されます。合計30~50題程度で約半分ずつ出題され, 解答方法は基本的には五肢択一式になっています。出題数の多い一般知能を攻略できるかどうか大きなポイントとなります。

### 専門試験

大卒程度試験や, 高卒程度では資格職試験で課されます。行政職系と技術職系で内容が大きく異なります。行政職系では法律や経済などが, 技術職系ではそれぞれ志望職種ごとの専門科目が課されます。市町村職員試験などでは専門試験が課されないところもあります。

### 人物・その他試験

論文/作文試験や面接試験, 集団討論試験などがあります。論文試験, 面接試験, 集団討論のテーマは, 志望動機や時事に関するものが多いです。作文試験では, 時事的な問題の他に, 表現力や職業に関する個人の抱負が問われるテーマが課されることもあります。

またその他に, 適性検査や体力検査などがある場合や, 大卒程度では専門記述試験がある場合もあります。試験によって異なりますので, 志望先の試験情報をよく確認しておきましょう。



# ●国家公務員試験の概要

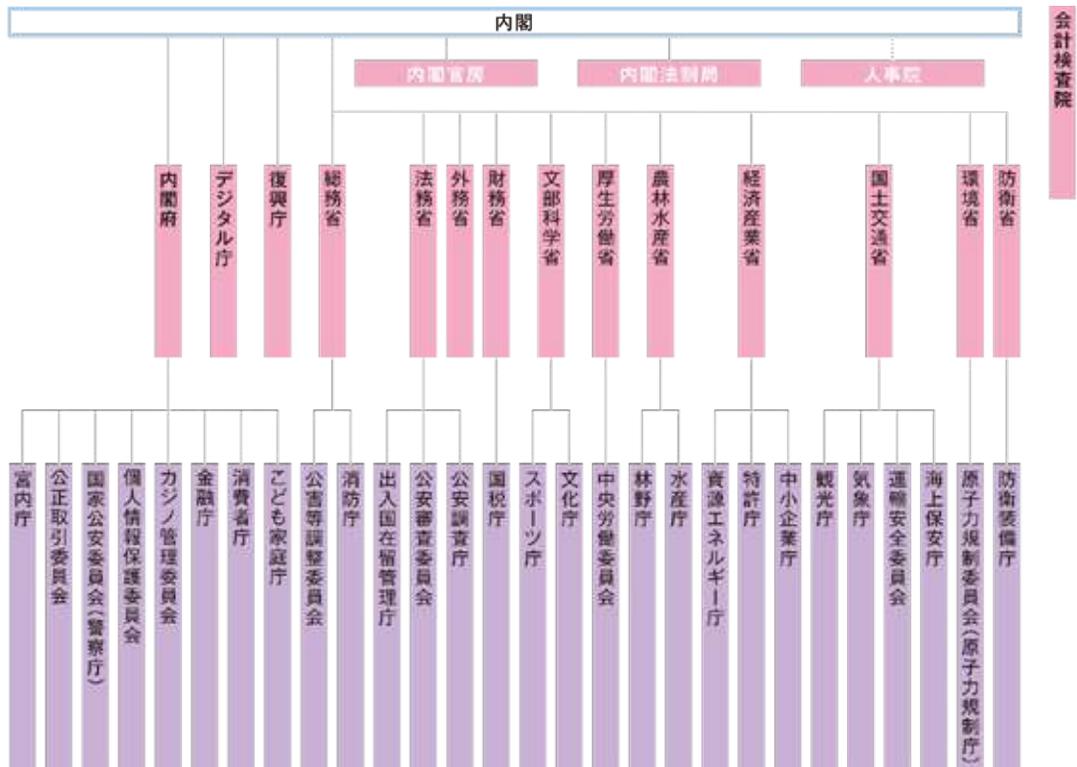
国家公務員は、行政府、司法府、立法府に大別され、採用試験の実施機関はそれぞれ異なります。行政府の採用試験の多くは人事院が行っており、幅広い試験種があります。司法府の採用試験は最高裁判所が、立法府の採用試験は衆議院や参議院などが実施しています。その他、外務省や防衛省などが独自に実施する専門職職員採用試験もあります。

## 行政府

### 国家一般職

中央官庁や地方出先機関において、政策の実行やフォローアップなどに関する事務を行います。行政区分は、全国を9つに分けた地域ブロック（北海道・東北・関東甲信越・東海北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄）ごとに採用され、行政区分以外の区分は全国地域での採用となります。

#### <国の行政機関>



○大卒程度試験○

**受験資格** (試験実施年4月1日現在)

原則, 21歳以上30歳未満の者

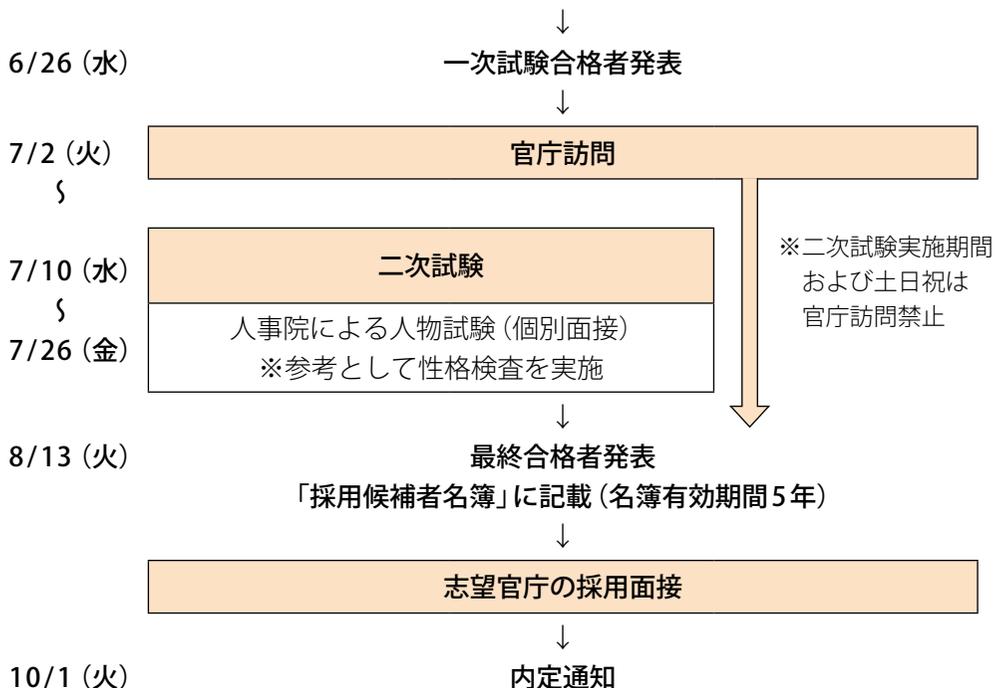
**試験区分**

行政, デジタル・電気・電子, 機械, 土木, 建築, 物理, 化学, 農学, 農業農村工学, 林学

**試験構成と採用内定までの流れ** (例) 2024年度実施日程

6/2 (日)	<b>一次試験</b>	
行政区分	①基礎能力試験 (択一式・30題・110分)	②専門試験 (択一式・40題・180分)
	③一般論文試験 (1題・60分)	
建築区分	①基礎能力試験 (択一式・30題・110分)	②専門試験 (択一式・33題・120分)
	③専門試験 (記述式・1題・120分)	
行政・建築以外の区分	①基礎能力試験 (択一式・30題・110分)	②専門試験 (択一式・40題・180分)
	③専門試験 (記述式・1題・60分)	

※一般論文試験と専門試験 (記述式) の評価は, 一次試験の合否に影響せず, 最終合格者の決定の際に反映されます。



○高卒者試験／社会人試験（係員級）○

**受験資格**（試験実施年4月1日現在）

○高卒者試験：高校または中等教育学校の卒業から2年未満の者，  
年度末までに卒業見込みの者

※上記に準ずる者（中学卒業から2年以上5年未満の者など）も受験可能。

○社会人試験（係員級）：原則，高校または中等教育学校を卒業した40歳未満の者

**試験区分**

事務，技術，農業，農業土木，林業（年度によって実施されない区分あり）

**試験構成と採用までの流れ** 〈例〉2024年度実施日程

9/1（日）

一次試験	
事務区分	①基礎能力試験（択一式・40題・90分） ②適性試験（択一式・120題・15分） ③作文試験（1題・50分）
事務以外の区分	①基礎能力試験（択一式・40題・90分） ②専門試験（択一式・40題・100分）

※作文試験の評価は，一次試験の合否に影響せず，最終合格者の決定の際に反映されます。

↓

10/3（水）

一次試験合格者発表

↓

10/9（水）

二次試験

↓

10/18（金）

人事院による人物試験（個別面接） ※参考として性格検査を実施

↓

11/12（火）

最終合格者発表

↓

志望官庁の採用面接

↓

採用

## 裁判所事務官一般職

高等裁判所の管轄区域ごとに採用され、区域内の裁判部や事務局に配置されます。裁判部では、裁判所書記官のもとで各種の裁判事務に従事し、事務局では、総務課、人事課、会計課等において司法行政事務全般に従事します。

**受験資格**（試験実施年4月1日現在）

- 大卒程度試験：原則、21歳以上30歳未満の者
- 高卒程度試験：原則、高校または中等教育学校の卒業から2年未満の者、  
年度末までに卒業見込みの者

### 試験区分・試験構成

試験区分	大卒程度	高卒程度
一次試験	①基礎能力試験 (択一式・30題・140分) ②専門試験(択一式・30題・90分) ③論文試験(小論文・1題・60分)	①基礎能力試験 (択一式・45題・100分) ②作文試験(1題・50分)
二次試験	人物試験(個別面接) ※参考として性格検査を実施	

※論文・作文試験の評価は、一次試験の可否に影響せず、最終合格者の決定の際に反映されます。

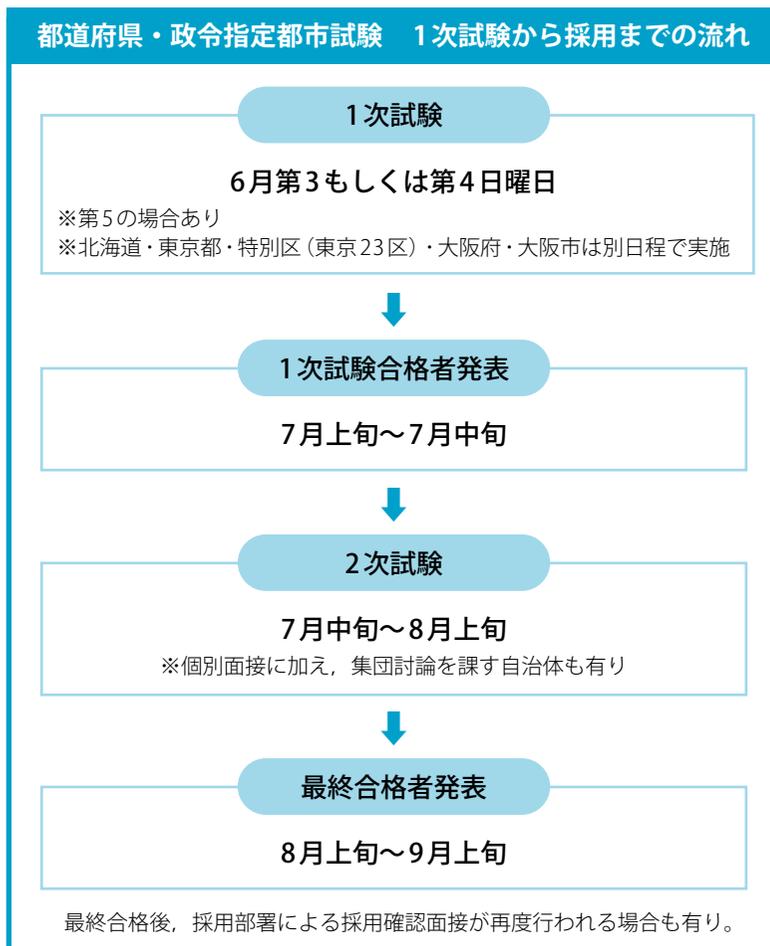
# ●地方公務員試験の概要

地方公務員は、都道府県・政令指定都市・市町村といった地方公共団体（自治体）ごとに採用されています。職種は行政・事務系から土木や建築，化学などの技術職，保健師，管理栄養士，看護師などの免許資格職と多岐にわたります。例えば，事務・行政系職種の場合，行政において企画立案から執行まで行います。扱う分野はまちづくりから，福祉，地域活性，文化，治安など，その地域の生活・産業の特色や課題に応じた業務が求められます。地方公務員になるには，地方公務員試験を受験し，合格の後，採用される必要があります。その試験は各自自治体がそれぞれ実施するため，試験の内容から実施時期，難易度も自治体ごとに異なります。

## 都道府県職員・政令指定都市職員

○大卒程度試験○

### 試験日程



※上記日程と異なる都道府県，政令市もあります。

### 試験区分

行政系：一般行政・教育行政・警察行政・福祉行政

技術系：土木・建築・機械・電気・化学・水産・畜産・林業・農業・農業土木・農業経済・環境科学など

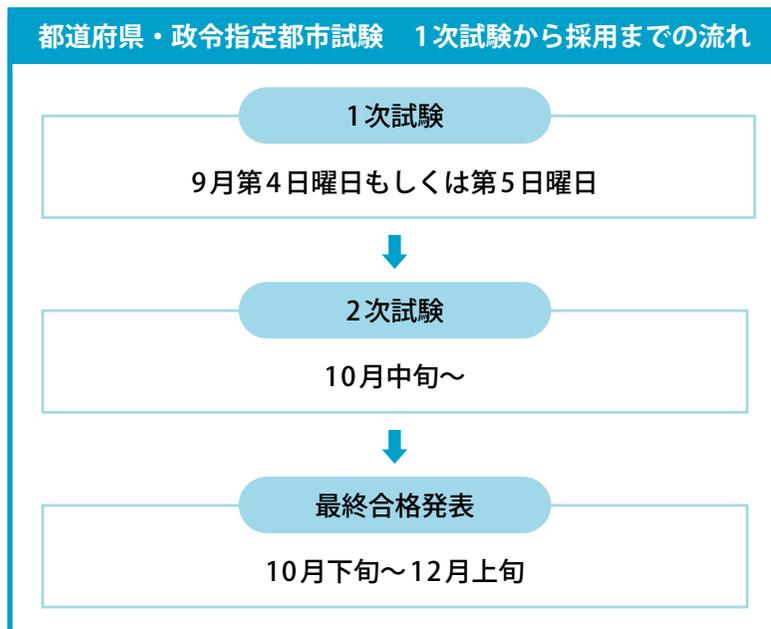
その他：公立小中学校事務・社会福祉・保健師・保育士・(管理)栄養士など

### 受験資格

都道府県では学歴制限を設けず年齢制限のみという場合が多いですが、政令指定都市では年齢制限に加え大卒(見込み含む)であることを要件にしている場合が多く見られます。また、学歴制限を設けず年齢制限のみの自治体では、中級試験を大学生(卒)が受験できるところもあります。試験科目に専門科目が課され、実態は「短大生ではなく大学生のための中級試験」となっていることも多いので、希望自治体の中級試験が受験可能か見逃さないようにしましょう。

## ○高卒程度試験○

### 試験日程



### 試験区分

行政系：一般事務・警察事務・学校事務

技術系：農業・土木・農業土木・林業・電気・機械・建築など

その他：警察官・交通巡視員など

### 受験資格

各自治体によって異なります。ただし、学歴規定を設けている自治体が多く、ほとんどの自治体で大学卒業(見込)者は受験できません。

## 市町村職員

### ○大卒程度試験○

#### 試験日程

各市町村の試験日は例年同じ日程で行われることが多いので、まずは受験したい市町村をいくつかピックアップしてこれまでの試験日程を調べ、その日程を目安に学習を進めましょう。ただし、例年であれば全国的に統一実施日とも呼べる試験日が数回あり、大多数の市町村はこの統一試験日のいずれかで実施されます。同一日程で行われる試験の問題はほとんど同じ出題内容となっていることが多いので、注意しましょう。

A日程	府県・政令指定都市と同じ6月の第3週または第4週の日曜日が第1次試験日です。主に県庁所在地の試験が実施されます。
B日程	7月の第3週または第4週の日曜日が第1次試験日です。多くの市役所で試験が実施されます。専門試験を課すところが多いですが、教養試験のみで受験できる自治体もあります。
C日程	9月の第3週または第4週の日曜日が第1次試験日で、多くの市役所および町村役場の採用試験が実施されます。この日は初級（高校卒業程度）の試験が同時に実施される場合も多く、特に試験区分を設けずに大卒者から高卒者まで同一の試験を受験させる場合もあります。
独自日程	A・B・C日程以外（例：5月・8月・10月）で第1次試験を実施する自治体もあります。日程が異なることから受験者が集まるため、比較的競争率が高くなる傾向が見られます。（北海道、東京都、特別区〔東京23区〕、大阪府など）

#### 受験資格

市町村試験の受験資格は①年齢制限と②学歴資格、の2つを設けていることが多いですが、さらに居住地制限（住所要件）を設けているところも少数ながらあります。また、年度によっては採用試験が実施されない市町村もあるため、こまめな情報収集が不可欠です。

### ○高卒程度試験○

#### 試験日程

各市町村によって異なりますが、9月第3・4・5日曜日のいずれかに第1次試験を実施する市町村が比較的多く、中には7月や8月、10月に第1次試験を実施する市町村もみられます。

#### 受験資格

各市町村によって異なります。受験年齢に加え都道府県職員同様、学歴規定を設けている市町村が多くあります。また、市町村内居住者に限るところもあるので注意が必要です。

## 地方上級／初級 技術職・専門職(資格職)

大学などで得た高い専門知識を活かすため、最初からある程度業務内容を限定した上で採用されるのが「技術職・専門職」です。現在は研究や現場での業務だけではなく、専門知識を活かした関連施策の企画・立案の推進、関係機関との調整、折衝などいわゆる行政職的な能力も求められるようになっており、人間的にバランス感覚が優れた人が評価されているようです。ただし、各試験とも採用人数は決して多いとは言えません。「技術職・専門職」志望の方は、専門科目の学習に注力しすぎて教養(基礎能力)科目の学習が疎かにならないように、基礎レベルから計画的にしっかり学習しましょう。

### ★試験科目・試験の特徴

1次試験は教養試験と専門試験が課されます。通常、教養試験は行政職と同じ問題が出題され、専門試験ではそれぞれの試験区分に関連する科目が出題されます。また、専門試験では多肢選択式に加え記述式が出題されることもあります。大学や研究室、民間企業などで経験・研究を深めている受験生が多いため、専門試験対策は比較的万全でありながら、教養試験対策を疎かにしている受験生が多いのが実状です。合否はあくまでも教養試験と専門試験の合計点で決まるので、合格点が比較的高い「技術職・専門職」試験を確実に突破するためには、教養試験で高得点を得てライバルに差をつけることがカギです。

### <技術職>

受験資格として各試験区分に関係する科目を履修していることが条件になる場合もあります。土木・電気・農学(農業)などは比較的採用人数が多いですが、全体として行政職と比べると採用人数は少なめです。また、採用計画の年ごとの変動が大きく、区分によっては採用がないときもあります。試験情報も少ないため、合格した先輩や大学の先生、最寄りの東京アカデミー各校などを利用してこまめに情報を収集しましょう。

#### 採用区分・仕事内容(例)

土木：道路、港湾、河川などの公共工事に関連した事業計画・工事設計・監督などを行います。  
近年は環境に配慮した施設整備が大きな課題となっています。

農業：近年、国内外の産地間競争の激化や農産物価格の低迷などで厳しい状況に置かれている農業経営・農家経済の安定に向けて、生産性の向上を目指した研究開発や、きめ細やかな施策の企画・立案を行います。

#### その他の採用区分

電気・電子・情報、建築、物理、化学、農芸化学、機械、林業、農業土木、農業経済、環境科学、畜産、水産など

## <専門職(資格職)>

ある特定の資格を有していること、または指定された学科などで所定の科目を履修していることを受験条件とし、「資格職」と呼称されることもあります。採用後に即戦力として各現場にて勤務することが求められます。また、何年かの現場勤務を経た後は、行政職員と同じように企画立案や事業実施に携わる場合もあります。主に地方自治体での採用となりますが、決して採用数が多いとは言えず、採用のない年も珍しくありません。希望する自治体の採用予定は直接自治体に問い合わせたり、インターネットを活用したりして調べておきましょう。

### 採用区分(例)

保健師, 看護師, 助産師, (管理) 栄養士, 社会福祉士, 薬剤師, 保育士

## 民間企業等経験者採用試験

近年、民間企業などでの職務経験のある人を対象とした公務員採用試験が増えています。その呼び方は「民間企業等経験者採用試験」や「経験者採用試験」など試験により異なります。多様化する行政や地方自治の業務や課題に対し、民間企業等で得た経験や能力、識見を活かし、より良い行政サービスを行うことが求められていることが背景としてあり、これまでの古い体質から脱却し、行政組織に新しい風を巻き起こす人材が必要とされています。ただし、「民間企業等経験者採用試験」は試験によりその実施時期・試験内容等には差があり、毎年安定して実施される試験ではありません。そのため、正確な情報収集と的確な対策が重要となります。まずは試験の現状と傾向を知り、そこから公務員への転職の道を歩み始めましょう。

### 受験資格

年齢制限では下は20代前半から上は最高59歳まで受験が可能な点が特徴です。また、ほとんどの試験で職務経験を必要とします。直近数年以内に2年～10年ほどの職歴を有する必要があるなど試験により異なるので、確認が必要です。

### 試験区分

自治体によりばらつきがあり、大卒程度・高卒程度とさまざまです。また、従来の区分設定がない場合もあります。この場合、試験の実施時期や試験傾向から判断する必要があります。試験によっては、民間企業等経験者採用試験専用の問題を設定している場合もあります。

### 試験日程, 採用状況

6月実施もありますが、9月・10月に多く実施されています。採用予定者数は若干名～10名前後と少ないため、受験倍率が高くなりやすい傾向にあります。(例: 特別区(東京23区) 2級職(主任) 一般事務 2023年度受験倍率6.4倍)

※国家公務員での経験者採用は、人事院実施の「経験者採用試験(係長級)」や一部省庁ごとに実施する経験者採用試験があります。

## ★試験内容

自治体によりばらつきがあります。従来の教養試験(大卒・高卒程度)を実施し、しっかりと筆記試験対策が求められる試験, 多くの民間企業等が導入しているSCOAやSPI3, 一般常識試験を導入している試験, 職務経験・実務能力を重視する職務基礎能力試験・職務適応性検査などを実施する試験などがあります。全体的な傾向として, 筆記試験等での学力よりも前職で得た能力・経験を重視する場合があります。また試験によっては書類選考などを導入している場合もあります。

### <論文>

多くの試験で論文試験も実施されます。公務員試験でよく実施されるような課題式論文試験のほか, 「経験者論文」として具体的な職務経験や能力を踏まえた内容が求められる場合もあるのが特徴です。

### <面接>

ほぼすべての試験で個別面接が実施されます。一般採用の面接試験で聞かれる質問項目に加え, 前職での仕事内容や経験・能力・勤務態度に関する質問項目が目立ちます。また, プレゼンテーション試験など実際の職務能力を評価する試験も実施される場合があります。

## 警察官

地域住民が安心して暮らせる社会を実現するために, 日々活躍している警察官。その高い使命感・正義感から, 人気のある職種のひとつです。刑事ドラマや交番勤務などのイメージが強いと思いますが, 実際は, 犯罪の種類別に部署が分かれ, 他にも専門性の高い部署, 事務系・技術系などの部署も多数整備され, その職務範囲は驚くほど多岐にわたっています。住民に一番近いところで働き, 一番頼りにされているとも言える警察官は, 実は非常に多才な人材がそろった組織なのです。

### 受験資格

警察官試験の受験資格には①年齢制限(28~35歳くらいまでが多い)と②学歴資格が設けられていることが多く, 大卒(卒業見込み含む)の人は, ②の学歴資格により「A区分」試験を受験することになります(B区分は大卒以外とする自治体が多い)。

※警視庁・埼玉県警・長崎県警の大卒区分は「I類」。

### 試験日程

試験日設定は各都道府県に委ねられており, その日程は一律ではありません。日程が重ならなければ複数受験も可能です。住む場所にこだわらず, どうしても警察官になりたい人は, 地元ばかりでなく全国に目を向けてみましょう。※地元試験で他県警を受験できる「共同試

験制度」は下記参照。

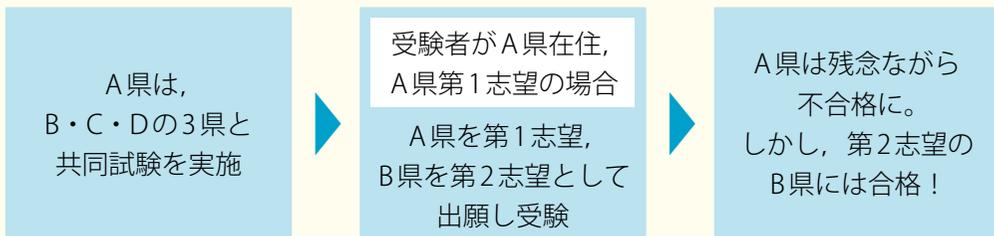
### 試験科目

1次試験科目には公務員試験の必須科目である「教養科目（一般知能・一般知識）」のみが出題されます（若干の法律科目が出題される自治体もあります）。出題レベルは国家公務員や地方上級などよりも比較的容易なので、基礎的な学習を疎かにしないことが求められます。また、適性（性格）検査・論文試験も併せて実施されるので、論文対策として一度は添削指導を受けておくことをお勧めします。

#### ★共同試験制度

警察官試験では、受験者が志望する都道府県まで出向く不便さを解消するために「共同試験」を実施しているところが多くあります。これは複数の都道府県警察が共同して1つの試験を行うもので、受験者は第2もしくは第3志望まで選択できるようになっています。

例えば……



ということもあります。

#### ★体力検査

警察官は体力を求められる仕事が多いため、筆記試験や面接試験に加え体力検査・身体検査を実施し、日常業務に影響がないかチェックされます。体力検査は、下記の通り決して特別なものではないので、日頃から体を動かしておくように心がけてください。

##### 体力検査（例）

《警察官（男性）》①腕立て伏せ②上体起こし（腹筋）③反復横跳び④長座体前屈⑤握力⑥50m走/シャトルラン⑦1500m走（急歩）など。

##### 身体検査（要件）（例）

視力・色覚・聴力・胸囲・肺活量など。

※志望先の実施要項にて必ずご確認ください。

## [特集2] 学習ガイダンス

---

学習プラン	1
試験日程カレンダー	3
教養試験の概要	5
専門試験の概要	8
人物試験の概要	10
人物試験対策(面接試験対策)	16
適性検査(性格検査)の概要	41

© 2025 TOKYO ACADEMY

本書の複写・スキャン・デジタルデータ化等の複製  
及び複製物の転売は法律で認められた場合を除き違  
法のため禁じます。

# ● 教養試験の概要

## 教養試験とは？

試験区分に関係なく、大半の公務員試験で課される五肢択一式の学力試験です。出題科目は「一般知能」分野と「一般知識」分野に大別されます。一般知能は、長文読解力が試される文章理解と、パズル的な問題の判断推理（課題処理）や空間把握、数的推理（数的処理）、グラフや表の数字が何を表しているかをみる資料解釈からなります。一般知識は、高校までに学んだ社会や理科などからなり、それ以外では、時事に関する問題などが出題されています。

## 教養試験の攻略法

### STEP 1 試験概要を知る

受験する職種、自治体によって試験の出題パターンは異なります。志望先の出題傾向を踏まえて学習計画を立てましょう。

### ● 大卒程度

公務員試験 教養科目	一般知能						一般知識																	
	文章理解		一般知能				社会科学			人文科学				自然科学					その他					
	現代文(古文)	英文	判断推理	空間把握	数的推理	資料解釈	政治	経済	社会	日本史	世界史	地理	思想	文学・芸術	数学	物理	化学	生物	地学	国語(漢古文)	英語	時事・社会事情	情報	
国家公務員	国家一般職	6	4	6	1	4	3																5	1
	国税専門官A																							
	財務専門官	6	4	6	1	4	3															5	1	
	労働基準監督官A																							
裁判所職員一般職	5	4	7	2	5	1																6		
地方公務員	地方上級(6月試験)	★																						
	市役所B日程(7月試験)	3	3	5	3	4	2		9		2	2	1			1	1	1	2	1				
	東京特別区	5	4	6	4	5	4		4		1	1	1	1			2	2	2	2			4	
警察官・消防官	警視庁警察官I類	6	2	6	5	4	2	3	3	3	2	2	2	1	1	1		1	1	1	2	2		
	5月警察官	3	5	6	4	5	2	4	3	3	2	3	3			1	1	2	2	1				
	東京消防庁消防官I類	5	1	7	1	6	2	3	1		1	1	1			2	1	1	1		5	3	3	

※ 2024年度(令和6年度)実績。

※東京特別区は一般知識分野については問題選択制。■は必須科目を表します。

※市役所B日程(7月試験)は、「公益財団法人日本人事試験研究センター」作成のStandard I〈標準タイプ〉を掲載。

※出題形式が変更される場合があります。常に最新の試験案内を確認するようにしましょう。

★地方上級(6月試験)…受験先の自治体によって問題数等が変わります。詳しい試験情報については、各自治体から公開される情報をご確認ください。

## ●高卒程度

公務員試験 教養科目		一般知能					一般知識														
		文章理解	数的推理 (数的処理)	判断推理 (課題処理)	空間把握	資料解釈	政治・経済・社会	世界史	日本史	地理	思想	文学・芸術	国語	英語	数学	物理	化学	生物	地学	時事・社会事情	情報
国家公務員	国家一般職	7	4	5	2	2	5	2	1	1	1		2	2	1	1	1	1	1		1
	裁判所職員一般職	9	6	5	2	2	4	2	2	2	2		1		2	1	1	1	1	2	
	海上保安学校学生	7	4	5	2	2	5	1	1	2	1		2	2	1	1	1	1	1		1
地方公務員	全国パターン(9/22)	6	4	4	4	2	7	2	2	2					1	1	1	2	1		1
	全国パターン(9/29)	8	6	5	4	2	8	2	2	2			3		1	1	2	2	1	1	
消防官・ 警察官	警視庁警察官Ⅲ類	8	6	6	3	2	7	2	2	2	1	1	2	2		1	1	1	1	2	
	東京消防庁消防官Ⅲ類	6	6	5	3	2	3	1	1	1			5	3	3	1	1	1			3

※2024年度(令和6年度)実績。

※出題形式が変更される場合があります。常に最新の試験案内を確認するようにしましょう。

※地方公務員全国パターン(9/22)は、「公益財団法人日本人事試験研究センター」作成のStandard II〈標準タイプ〉を掲載。

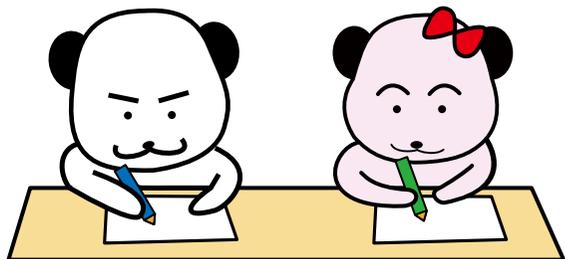
## STEP 2 重要科目に力を入れる

上記の出題科目内訳表のように、大卒程度・高卒程度ともに、教養試験では一般知能の占める割合が大きく、公務員試験独自の問題である一般知能をどう攻略するかが合否のポイントとなります。一般知能分野には、判断推理(課題処理)など、学校では学習しないクイズやパズル形式の問題も含まれますが、解法がパターン化されているため、それをしっかりとマスターすることで確実に得点源となります。

**STEP 3****一般知識分野の優先順位を決める**

一般知識分野の中で出題数が多いのが政治・経済・社会です。ここを第二の得点源にすることがポイントです。また一般知識分野は、非常に広い範囲から出題されます。そのため残りの13科目のうち、得意科目や頻出単元、的を絞りやすい科目を中心に確実に得点できる分野を増やすことがより効率的です。

合格のボーダーは一般的に6～7割程度といわれています。皆が正解できる問題を落とさないようにし、さらに時間があれば、苦手科目や出題頻度の低い単元も学習して1点でも多く得点できるようにしましょう。



# ●人物試験の概要



## 人物試験の意義

人物試験は、積極性、社会性、信頼感、経験学習力、コミュニケーション能力など、公務員として求められる人物面での適性と能力を検証するために行われます。筆記試験だけでは公務員としての資質があるかどうかを判断できないので、人物試験で人柄や対人的能力をチェックします。

人物試験は二次試験で行われるところが大半で、自治体や職種によっては、一次試験で採用予定者の数倍の合格者を出し、二次試験の人物試験で大量の不合格者を出すところもあります。特に近年の公務員試験では人物重視の傾向が顕著で、人物試験のウエイトが高まっています。一次試験に合格したからといって安心はできません。

## 人物試験の実施形態

人物試験の実施形態としては、個別面接、集団面接、集団討論、プレゼンテーション、グループワークなどがあります。このうち、個別面接はほとんどの公務員試験で実施されます。個別面接を複数回実施するところもあり、とりわけ人物重視の採用を行っている自治体は面接を多く行う傾向があります。集団面接や集団討論は、団体の規模が大きくなるほど実施される傾向があり、プレゼンテーション、グループワークを実施する団体は限られています。また、公務員試験では人物試験の参考とするため、筆記試験以外に適性検査（性格検査）を実施するところも多いです。

全国的な人物試験の実施状況については、公益財団法人日本人事試験研究センターが2023年に行った調査結果が参考になるので、次頁に一部抜粋します。この調査は大卒程度試験に関するものですが、高卒程度試験においても同様の傾向がみられます。

## 求められる人物像

多くの場合、人物試験官（面接官、評価者）は、求められる人物像を反映した面接評定票を用いて可否を判定します。評定項目は試験種によって多少異なりますが、一般的な評定項目を大まかに列挙すると、次のようになります。

### 積極性

意欲、主体性、行動力

### 社会性

協調性、関係構築力

### 責任感

信頼感、達成力

### 経験学習力

課題認識力、適応・応用力

### 自己コントロール力

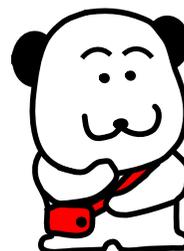
情緒安定性、自己統制力

### コミュニケーション力

表現力、説得力

その他、職務の特性によって、判断力、堅実性、態度などが評定項目となっている試験種もあります。

参考として、人事院が実施している大卒程度試験では、次頁の評定票が用いられています。



# ●人物試験対策（面接試験対策）

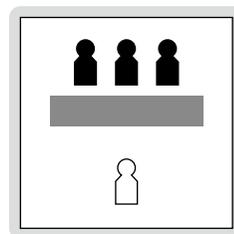
## 形式とその特徴

### ①個別面接

#### 【形式・方法】

3～4人程度の面接官を前にして、受験者が1人ずつ面接を受けます。受験者1人あたりの試験時間は、15～20分程度のことが多いです。試験の結果は、個別面接評定票に記載されます。面接官はそれぞれ独立して受験者の人柄、对人的能力等について、評定票の評定項目ごとに評定を行い、最後にすべての面接官の評定結果を総合して総合判定が行われます。

面接官 受験者



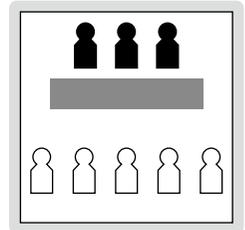
#### 【特徴・ポイント】

面接官が受験者1人に集中して、きめ細かく観察し、話を聞くことができるため、その人物の特性を正確に評価しやすいのが特徴です。話の展開に応じて、面接官が興味をもったことや疑問に思ったことについては、かなり掘り下げた質問が行われます。これをよく圧迫だと捉える人もいますが、面接官にそのような意図はありません。掘り下げた質問は、面接官が評定項目のそれぞれについて適切に評価するために、受験者から評定に役立つ情報を引き出す必要から行われます。例えば、面接官が受験者の積極性や社会性を評価するために、「部活動で何か役職についていましたか」と質問して、受験者が「部長をしていました」と回答した場合を考えてみましょう。部長をしていたというのは単なる事実なので、まだ受験者に積極性や協調性があると判断することはできません。そこで、面接官は「どのようにして部長になったのですか」「部員の意見が割れた場合にどのように対応しましたか」など、より理解を深めるために掘り下げた質問を行い、評価を行えるような情報（そこで受験者がどのように考え、どのように行動し、どのような成果を上げ、周囲の人たちとどのような人間関係を築いてきたのかなど）を聞き出し、評定につなげていくのです。したがって、掘り下げた質問に的確に対応し、自分らしい資質に関する情報を面接官に伝えることができたかどうか合否を分ける重要なポイントとなります。事前に自己分析をして、余さず伝えられるように準備しておきましょう。

## ②集団面接

### 【形式・方法】

3～4人程度の面接官を前にして、数人の受験者が同時に面接を受けます。面接時間はそのグループの人数によっても異なりますが、20～60分程度のところが多いです。まず、面接官は各受験者に受験番号、氏名などを述べさせ、それから質問に入るケースが一般的です。受験者全員に同じ質問をして、順番に答えさせることもあれば、各受験者にそれぞれ別の質問をすることもあります。また、回答者は面接官が指名することもあります。特に挙手制のときは積極的に発言し、自分をアピールしていきましょう。



### 【特徴・ポイント】

面接官は、同時に複数の受験者を見ることができ、受験者同士を比較して相対的な評価をすることができます。その反面、1人に集中できないため、深く掘り下げた質問はあまり行われません。一つの質問に対して何人も受験者が答えることになるので、自分が発言しようと思っていたことを先に言われてしまったり、声の大きな受験者に圧倒されてしまったりするので注意が必要です。たとえ同じ意見であっても、何か付け加えたり、全体をまとめる内容にしたりするなど工夫して差別化を図りましょう。また、他の受験者に対して向けられた質問であっても、面接官の方を見ながら質問を聞き、他の受験者の答えもしっかりと聞く姿勢が望まれます。面接官は、他の受験者が話しているときにあなたがどのような態度で聞いているか見ています。また、他の受験者の意見について突然質問されることもあるので注意しましょう。

## 面接カード

### ①面接カードとは

受験者が人物試験当日またはそれ以前に書いて提出し、人物試験の際の資料となるものです。面接カードには、志望動機や学生時代(あるいは前職)の経験、特技など、受験者を知るためのポイントが凝縮されており、実際の面接では、面接カードの記載内容に沿って多くの質問が出されることが基本となります。したがって、面接カードの書き方ひとつで人物試験の内容が決定してしまうといえるほど、重要なものです。また、面接官は限られた時間に何十通もの面接カードに目を通すことから、丁寧な字で読みやすく、内容が伝わりやすい表現を心掛けることも大切です。

#### ④主な試験の面接カード

面接カード (一般職大卒) 2023			
このカードは人物試験の際に質問の参考資料とするものです。直接入力してA4で3部印刷。又は、A4で用紙を印刷後ボールペンで記入して3部コピーのいずれかで、人物試験当日に持参してください。(様式の変更は禁止) なお、出身校や会社名などが特定されるような記入は避けてください。(該当する□には✓を付けてください。)			
試験の区分	第1次試験地	受験番号	ふりがな 氏名
[最終学歴] <input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 博士・ <input type="checkbox"/> 修士・ <input type="checkbox"/> 専門職 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 短大・高専・専修学校 <input type="checkbox"/> その他( )		※西暦 <input type="checkbox"/> 修了・卒業( 年 月) <input type="checkbox"/> 在学( 年 月 修・卒見) <input type="checkbox"/> 中退( 年 月)	[職歴] <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない 主な職種
[専攻分野]		[志望官庁等]	
[志望動機・受験動機]			
[これまでに取り組んだ活動や体験] 達成感があったと感じたり、力を入れてきたりした経験について、簡潔に記入してください。 <input type="radio"/> 学業や職務において			
<input type="radio"/> 社会的活動や学生生活において(ボランティア活動、サークル活動、アルバイトなど)			
[関心事項] 最近関心を持った社会問題や出来事、日頃興味を持って取り組んでいることなど			
[趣味、特技など]			
[自己PR] 長所や人柄について			

#### 国家一般職(大卒程度)試験

##### ① 氏名欄

(ふりがな)とある場合はひらがなで書き、(フリガナ)とある場合はカタカナで書く。指示通り丁寧に書くこと。

##### ② 志望動機

国家公務員に「なぜになりたいか」ということだけでなく、国家公務員になって「何をやりたいのか」を具体的に書くこと。

##### ③ 体験・関心事項

この記載内容をもとに質問されるので、深く突っ込まれても答えられるように事前に準備しておくこと。また、質問されたときに面接官が興味を示すようなエピソードを用意しておくことさらに効果的である。

##### ④ 自己PR

長所を書くのが基本であり、否定的・消極的な表現は避ける。また、長所を今後どのように仕事に活かすのかということまで言及するとさらによい。

#### 注意したい点

どの欄もあまりたくさん書くことは書けない。簡潔明瞭に書き、字が小さすぎたり欄外にはみ出したりしないよう注意すること。なお、「これまでに取り組んだ活動や体験」は、コンピテンシー評価を意識して記入すること。

また、記入上のルールを無視している人が案外多いので注意すること。「ボールペンで記入」「出身校や会社名などが特定されるような記入は避ける」「該当する□には✓を付ける」とある。記入上の注意には必ず従うこと。



## 動作・マナーのマスター

### ①面接の流れ(成功例・失敗例)

誰もが緊張する面接(人物)試験では、自分のもっている力を100%出し切ることはなかなか難しいです。しかし、事前の準備や日々の積み重ねによって出せる力を伸ばすことができます。筆記試験と同様、面接試験には面接試験のための対策を立て、準備をしておく必要があります。ここでは、面接の流れに沿って、成功例と失敗例をまとめているので、具体的に動作やマナーのポイントをおさえていきましょう。ちょっとした振る舞いや姿勢の違いで面接官に与える印象は大きく異なってくるので、失敗例の注意点をしっかりおさえ、決して真似しないようにしましょう。

#### ① 入室

##### 【成功例】

- ・ドアの前に立ちノックを3(2)回する。面接官の「どうぞ」という声があったら両手で静かにドアを開けて、閉める。
- ・その際、面接官側に背中を向けすぎないように注意する。

##### 【失敗例】

- ・焦ってノックを早く叩きすぎる。
- ・片手でドアを開閉したり、後ろ手でドアを閉めたりする。
- ・大きな音を立ててドアを閉める。

#### ② お辞儀の仕方

##### 【成功例】

- ・「失礼いたします」と言い、腰から曲げてお辞儀をする。
- ・男性：体の横側に腕を添える。
- ・女性：一方の手にもう一方の手を重ねてお辞儀をする(※公安職は男性と同じ姿勢)。

##### 【失敗例】

- ・首だけでお辞儀をする。
- ・男性：指先を揃えずバラバラになっている。

#### ③ 座る前の立ち方

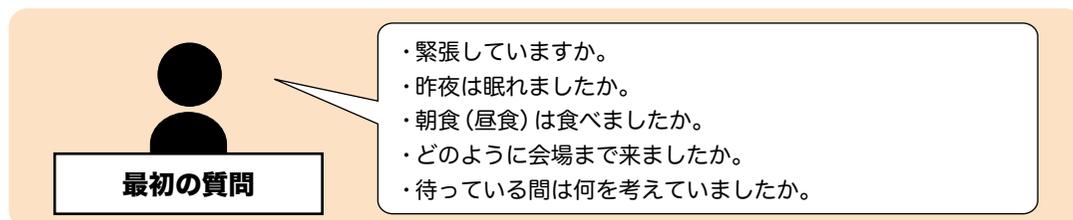
##### 【成功例】

- ・椅子の左側まで進み、背筋を伸ばして立つ。
- ・受験番号と氏名を言い、「よろしく願いいたします」と言って一礼する。面接官の「お座りください」という指示で椅子に座る。
- ・姿勢は、お辞儀の時と同じ。
- ・カバンは、椅子の横に自立させて立てて置く。

## 具体的な質問例

このパートでは面接(人物)試験における具体的な質問例を内容別に紹介します。質問される内容については職種などで変わってきますが、ほぼ共通する質問としてパターン化されているものがあります。次の①～⑩の内容は、必ず聞かれるものとして事前によく考え、準備をしておきましょう。

### ①最初の質問



**最初の質問**

- ・緊張していますか。
- ・昨夜は眠れましたか。
- ・朝食(昼食)は食べましたか。
- ・どのように会場まで来ましたか。
- ・待っている間は何を考えていましたか。

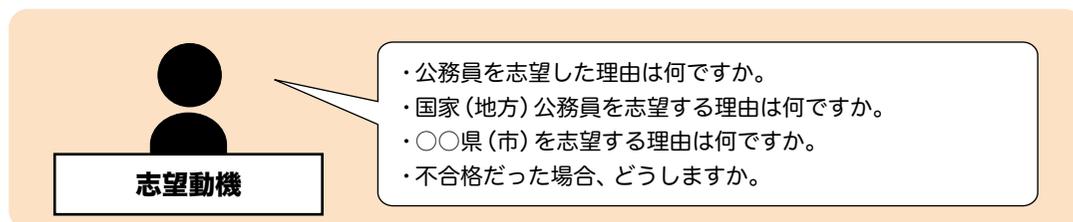
#### 【質問のねらい】

- 雰囲気を作るための質問。
- 受験者の緊張をほぐすために行われる。

#### 【注意したい点】

受験番号や氏名等の確認の後に、最初に聞かれる質問です。具体的に何かを回答させるというよりも、世間話のような感じで、受験者の緊張をほぐし、雰囲気を作るために行われます。上で挙げたもの以外に、筆記試験や集団討論などの手ごたえについて聞かれる場合もあります。いずれにせよ焦ることなく落ち着いて回答すれば大丈夫です。

### ②志望動機に関する質問



**志望動機**

- ・公務員を志望した理由は何ですか。
- ・国家(地方)公務員を志望する理由は何ですか。
- ・〇〇県(市)を志望する理由は何ですか。
- ・不合格だった場合、どうしますか。

#### 【質問のねらい】

- 公務員を志望する明確な理由をもっているか。
- 公務員の仕事や官庁について正確に理解しているか。
- 熱意や意欲、使命感や責任感は感じられるか。
- 採用されたら必ず就職する意思があるか。
- 正直に答える姿勢はあるか。

#### 【注意したい点】

ほぼ全受験者が聞かれる質問だけに、単にいつ、どのようにしてこの仕事を知ったのか、

# [特集3] 過去5年分の論作文試験課題一覧

## 都道府県職員(四国・九州・沖縄) 論作文試験出題内容

<b>徳島県</b>	
大卒程度	1
短卒・高卒	8
障がい者	8
<b>香川県</b>	
大卒程度	9
獣医師	10
造園技術	10
職業訓練指導員	11
職務経験者型	11
短卒/土木	17
短卒/農業	18
短卒/臨床検査	18
短卒/保育士	18
高卒	19
医療事務	19
看護師・看護師(助産師)	20
障害者対象	21
<b>愛媛県</b>	
上級・少年補導職員	22
民間企業等経験者	22
初級/一般事務・資格免許職	23
初級/警察事務	24
初級/障がい者	24
<b>高知県</b>	
行政・警察事務・学校事務	24
社会福祉(児童福祉)	25
土木	25
農業	26
林業	27
化学	28
建築	28
水産	29
電気	30
畜産	30
農芸化学	31
社会人経験者 ※1次試験(2次試験は行政と同じ)	31
就職氷河期世代	32
中級/司書	33
初級/選択志望職種 ※1次試験	34
初級/事務職種・土木・林業	34
障害者	35
<b>福岡県</b>	
行政	35
教育行政	37
警察行政	38

土木	39
建築	40
電気	41
機械	42
化学	42
農業	43
農業土木	44
林業	45
畜産	45
水産	47
薬剤師	48
児童福祉	49
栄養士	50
民間企業等職務経験者(行政)	51
民間企業等職務経験者(行政(DX))	53
2類/行政事務	54
2類/教育行政	55
2類/農業	56
3類/行政	56
3類/教育行政	57
3類/警察行政	57
3類/一般事務・教育行政・警察行政以外	58

#### 佐賀県

大卒	58
特別枠・スポーツ特別枠	59
民間企業等職務経験者	59
短卒	60
高卒	61
障害者	61

#### 長崎県

大卒	62
短卒/学校栄養・保育士	62
高卒	62
就職氷河期世代/一般事務	63

#### 熊本県

大卒(行政・警察行政・教育行政・心理判定員)	
・免許資格職(社会福祉・管理栄養士・薬剤師・保健師)	63
総合土木	63
建築	65
機械	66
電気	67
化学	68
農学	69
林学	70
畜産	70
水産	72
民間企業等経験者	75
免許資格職	75
高卒	76
就職氷河期世代対象	76
障がい者	77

## 大分県

上級(行政・教育事務・警察事務) .....	77
司書 .....	78
行政(社会人経験者) .....	78
初級 .....	79

## 宮崎県

一般行政・警察事務・管理栄養士・保健師・薬剤師 .....	79
大卒(社会人) .....	80
臨床検査技師 .....	81
高卒 .....	81
就職氷河期世代 .....	82
障がい者 .....	82

## 鹿児島県

行政 .....	82
警察事務 .....	83
行政「特別枠」 ※PR論文 ※19年度は事例式小論文 .....	83
民間企業等職務経験者 ※経験論文 .....	84
栄養士・保健師 .....	84
短卒／一般事務・教育事務 .....	86
高卒／一般事務・警察事務 .....	87
就職氷河期世代／一般事務 .....	87
障害者 .....	87

## 沖縄県

上級(病院事務・警察事務以外) .....	88
上級(警察事務) .....	88
上級(病院事務) .....	88
中級 .....	88
初級 .....	89
障害者選考 .....	89

© 2025 TOKYO ACADEMY

本書の複写・スキャン・デジタルデータ化等の複製及び複製物の転売は法律で認められた場合を除き違法のため禁じます。